

第 42 回 定時社員総会

日 時 令和 2 年 6 月 30 日

15 : 00 ～ 16 : 00

場 所 砂防会館別館 六甲会議室

一般社団法人 斜面防災対策技術協会

第42回 定時社員総会次第

日 時 令和2年6月30日（火）
15：00～16：00（予定）
場 所 砂防会館別館 六甲会議室

開 会

1. 挨拶

2. 議 事

第1号議案 令和元年度収支決算承認の件

第2号議案 役員選任の件

(報告事項)

第1号報告 令和元年度事業報告について

第2号報告 令和2年度事業計画及び収支予算書について

閉 会

目 次

第 1 号議案	令和元年度収支決算承認の件・・・・・・・・・・	1
	(1) 貸借対照表 ・・・・・・・・・・	2
	(2) 正味財産増減計算書 ・・・・・・・・・・	4
	(3) 財産目録 ・・・・・・・・・・	7
	(4) 収支計算書 ・・・・・・・・・・	9
	監査報告書 ・・・・・・・・・・	11
第 2 号議案	役員選任の件・・・・・・・・・・	13
(報告事項)		
第 1 号報告	令和元年度事業報告について・・・・・・・・・・	17
第 2 号報告	令和 2 年度事業計画及び収支予算書について ・・・・・・・・・・	25

第1号議案 令和元年度収支決算承認の件

貸 借 対 照 表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	本部	支部	合計	備 考
I 資産の部				
1 流動資産				
現金・預金	5,715,358	21,084,515	26,799,873	預金は普通預金
前払金	0	0	0	
未収金	40,400	66,895	107,295	
商品	2,986,108	0	2,986,108	棚卸高
立替金	1,443	24,400	25,843	
流動資産合計	8,743,309	21,175,810	29,919,119	
2 固定資産		0		
(1) 特定資産				
①登録試験事業積立資産	0	0	0	
②技術フォーラム事業積立資産	0	0	0	
③出版事業積立資産	0	0	0	
④職員退職積立金	3,355,273	2,854,469	6,209,742	
⑤運営資金積立金	0	12,294,568	12,294,568	事業積立以外の定期預金等
特定資産合計	3,355,273	15,149,037	18,504,310	
(2) その他固定資産				
什器備品	1	0	1	
電話加入権	6,000	0	6,000	
敷金	2,468,360	240,000	2,708,360	
その他固定資産合計	2,474,361	240,000	2,714,361	
固定資産合計	5,829,634	15,389,037	21,218,671	
資産合計	14,572,943	36,564,847	51,137,790	
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	185,874	0	185,874	
前受金	3,000	0	3,000	
預り金	183,862	0	183,862	
流動負債合計	372,736	0	372,736	
2 固定負債				
退職給与引当金	3,355,273	2,854,469	6,209,742	
固定負債合計	3,355,273	2,854,469	6,209,742	
負債合計	3,728,009	2,854,469	6,582,478	
III 正味財産の部				
1 指定正味財産				
指定正味財産合計	0	0	0	
2 一般正味財産				
一般正味財産合計	10,844,934	33,710,378	44,555,312	
(うち基本財産への充当額)			0	
(うち特定資産への充当額)			0	
正味財産合計	10,844,934	33,710,378	44,555,312	
負債及び正味財産合計	14,572,943	36,564,847	51,137,790	

貸借対照表(本部、支部を合計した値と前年度との比較)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前年度	増減	備 考
I 資産の部				
1 流動資産				
現金・預金	26,799,873	25,406,028	1,393,845	預金は普通預金
前払金	0	0	0	
未収金	107,295	123,860	△ 16,565	
商品	2,986,108	3,451,150	△ 465,042	棚卸高
立替金	25,843	22,803	3,040	
流動資産合計	29,919,119	29,003,841	915,278	
2 固定資産				
(1)特定資産				
①登録試験事業積立資産	0	0	0	
②技術フォーラム事業積立資産	0	0	0	
③出版事業積立資産	0	0	0	
④職員退職積立金	6,209,742	5,374,301	835,441	
⑤運営資金積立金	12,294,568	15,297,253	△ 3,002,685	事業積立以外の定期預金等
特定資産合計	18,504,310	20,671,554	△ 2,167,244	
(2)その他固定資産				
什器備品	1	1	0	
電話加入権	6,000	6,000	0	
敷金	2,708,360	2,708,360	0	
その他固定資産合計	2,714,361	2,714,361	0	
固定資産合計	21,218,671	23,385,915	△ 2,167,244	
資産合計	51,137,790	52,389,756	△ 1,251,966	
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	185,874	815,701	△ 629,827	
前受金	3,000	36,000	△ 33,000	
預り金	183,862	298,770	△ 114,908	
流動負債合計	372,736	1,150,471	△ 777,735	
2 固定負債				
退職給与引当金	6,209,742	5,374,301	835,441	
固定負債合計	6,209,742	5,374,301	835,441	
負債合計	6,582,478	6,524,772	57,706	
III 正味財産の部				
1 指定正味財産				
指定正味財産合計	0	0	0	
2 一般正味財産				
一般正味財産合計	44,555,312	45,864,984	△ 1,309,672	
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	
正味財産合計	44,555,312	45,864,984	△ 1,309,672	
負債及び正味財産合計	51,137,790	52,389,756	△ 1,251,966	

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	本部	支部	合計	備考
I 一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 入会金収益	(200,000)	(0)	(200,000)	
本部入会金	200,000		200,000	本部正会員の入会金))
支部入会金			0	支部正会員の入会金
② 会費収益	(32,970,000)	(34,248,500)	(67,218,500)	
正会員会費	31,120,000		31,120,000	本部正会員の年会費
賛助会員会費	1,850,000		1,850,000	本部賛助会員の年会費
支部基本会費		15,175,000	15,175,000	支部会員の基本年会費(一律徴収)
支部規模別等会費		18,425,000	18,425,000	規模別会費を別途徴収している場合の年会費
特別会費		648,500	648,500	
③ 事業収益	(24,126,665)	(5,815,964)	(29,942,629)	
印刷物頒布収益	4,054,665	0	4,054,665	会誌やその他印刷物の頒布収入、会誌広告収入
試験等事業収益	18,458,000	200,964	18,658,964	試験、講習会、研修会の受講費用等
技術フォーラム参加収益	1,614,000	1,495,000	3,109,000	技術フォーラム講演集、意見交換会参加費用
業務受託収益	0	4,120,000	4,120,000	事務受託等、受託業務の収入
④ 雑収益	(1,075,809)	(1,743,139)	(2,818,948)	
受取利息	99	1,600	1,699	預金等の受取利息
広告収益	0	0	0	
その他収益	1,075,710	1,741,539	2,817,249	総会参加費、関東支部事務所費等、支部助成金
経常収益計	58,372,474	41,807,603	100,180,077	
(2) 経常費用				
① 事業費	(41,213,019)	(12,294,282)	(53,507,301)	
期首商品棚卸高	3,451,150		3,451,150	
期末商品棚卸高	△ 2,986,108		△ 2,986,108	
技術開発研究費	160,340	6,320,565	6,480,905	技術関係委員会の会議や研修等の費用
職員給与	0	5,206,838	5,206,838	
退職金	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	法定福利費等
旅費交通費	0	104,740	104,740	維持管理マニュアル編集委員会
通信運搬費	6,320	64,233	70,553	
消耗品費	0	129	129	
印刷製本費	0	249,205	249,205	
会場借上等費	0	527,030	527,030	会場費、設備費、飲食費等
諸謝金	0	108,000	108,000	
雑費	154,020	60,390	214,410	銀行金種別手数料
試験等事業費	13,446,245	660,606	14,106,851	試験、講習会、研修会費用
職員給与	3,184,570	0	3,184,570	
退職金	0	0	0	
福利厚生費	708,675	0	708,675	法定福利費等
旅費交通費	1,686,090	255,880	1,941,970	支部試験・講習会経費、試験委員会
通信運搬費	834,170	510	834,680	
消耗品費	69,198	12,216	81,414	
印刷製本費	2,216,293	7,560	2,223,853	
会場借上等費	2,149,427	238,576	2,388,003	会場費、設備費、飲食費等
諸謝金	2,380,000	143,392	2,523,392	
雑費	217,822	2,472	220,294	振込手数料、駐車場代等
技術フォーラム事業費	7,525,305	1,597,670	9,122,975	技術フォーラム
職員給与	1,393,510	0	1,393,510	
退職金	0	0	0	
福利厚生費	251,601	0	251,601	法定福利費等
旅費交通費	1,201,620	90,670	1,292,290	フォーラム委員会、フォーラム開催前打合せ交通費等
通信運搬費	35,098	0	35,098	
消耗品費	61,499	123,510	185,009	
印刷製本費	1,135,266	12,000	1,147,266	
会場借上等費	3,182,862	542,893	3,725,755	会場費、設備費、飲食費等
諸謝金	70,000	0	70,000	
雑費	193,849	828,597	1,022,446	振込手数料等
出版事業費	12,918,601	74,640	12,993,241	会誌や出版物に係る費用
職員給与	1,135,430	0	1,135,430	
退職金	0	0	0	

科 目	本部	支部	合計	備考
福利厚生費	207,528	0	207,528	法定福利費等
旅費交通費	732,800	49,640	782,440	編集委員会、合同編集委員会座談会
通信運搬費	473,254	0	473,254	
消耗品費	17,652	0	17,652	
印刷製本費	8,950,218	0	8,950,218	
印刷物購入費	0	0	0	協会出版物の購入費用等
会場借上等費	187,214	25,000	212,214	会場費、設備費、飲食費等
諸謝金	927,600	0	927,600	会誌原稿料、図書カード
雑費	286,905	0	286,905	振込手数料等
広報活動費	921,910	2,022,883	2,944,793	ホームページ制作、会誌等の配布、陳情等に係る費用
職員給与	0	519,580	519,580	
退職金	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	法定福利費等
旅費交通費	586,900	730,630	1,317,530	企画委員会、HP委員会
通信運搬費	1,925	17,960	19,885	
消耗品費	0	0	0	
印刷製本費	105,600	137,413	243,013	
会場借上費	227,485	222,840	450,325	会場費、設備費、飲食費等
諸謝金	0	390,000	390,000	
雑費	0	4,460	4,460	振込手数料
賃借料	2,509,176	0	2,509,176	事務所賃借料、コピー機、PC等のリース料を事業費と按分計上
広告宣伝費	406,400	433,010	839,410	日刊建設工業新聞、日刊建設通信新聞等への広告料
協賛金	1,160,000	384,908	1,544,908	協賛金、負担金、会費等
助成金	1,700,000	800,000	2,500,000	支部助成金、入会奨励金、フォーラム助成金、全国地すべり防止工事士会
② 管理費	(16,481,078)	(31,501,370)	(47,982,448)	
職員給与	3,424,110	6,955,200	10,379,310	
臨時雇用賃金	190,915	0	190,915	アルバイト料
役員退任慰労金	0	0	0	
退職給与引当金	0	300,221	300,221	
福利厚生費	792,981	1,166,532	1,959,513	職員に対する慶弔費用、社会保険料等の法定福利費
委託費	3,031,782	5,060,000	8,091,782	事務(会計等)委託、清掃委託等の費用
会議費	2,574,232	5,682,973	8,257,205	理事会・総会・その他会議に係る会場費、飲食費
旅費交通費	329,163	4,328,817	4,657,980	職員の通勤費を含む
通信運搬費	978,868	1,188,666	2,167,534	電話、郵便、インターネット、宅配便等
消耗品費	243,259	630,118	873,377	事務用品費、新聞購読料等
消耗什器備品費	0	135,000	135,000	金額が10万円未満の事務用什器等
保守費 (IT関係)	523,200	0	523,200	年間又は月次に定期的に支払っているIT関係の保守等の費用
印刷製本費	339,387	359,943	699,330	挨拶状や年賀状等の印刷費
水道光熱費	428,025	0	428,025	水道、電気、ガス
諸謝金	397,160	1,130,000	1,527,160	
賃借料	2,509,176	3,015,883	5,525,059	事務所賃借料、コピー機、PC等のリース料を事業費と按分計上
租税公課	121,300	81,000	202,300	印紙代等
諸会費	90,500	358,000	448,500	事業と関連のない会費(町内会費や法人会等)
渉外慶弔費	0	345,532	345,532	
雑費	507,020	763,485	1,270,505	振込手数料等
経常費用計	57,694,097	43,795,652	101,489,749	
当期経常増減額	678,377	△ 1,988,049	△ 1,309,672	
経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
前期損益修正損	0	0	0	
電話加入権評価損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	678,377	△ 1,988,049	△ 1,309,672	
一般正味財産期首残高	10,166,557	35,698,427	45,864,984	繰越金+積立金+その他固定資産-固定負債
一般正味財産期末残高	10,844,934	33,710,378	44,555,312	
Ⅲ 正味財産期末残高	10,844,934	33,710,378	44,555,312	

正味財産増減計算書(本部、支部を合計した値の前年度との比較)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 入会金収益	(200,000)	(0)	(200,000)
② 会費収益	(67,218,500)	(67,555,600)	(△ 337,100)
③ 事業収益	(29,942,629)	(31,233,181)	(△ 1,290,552)
印刷物頒布収益	4,054,665	4,611,826	△ 557,161
試験等事業収益	18,658,964	18,459,871	199,093
技術フォーラム参加収益	3,109,000	4,051,484	△ 942,484
業務受託収益	4,120,000	4,110,000	10,000
④ 雑収益	(2,818,948)	(2,570,620)	(248,328)
経常収益計	100,180,077	101,359,401	△ 1,179,324
(2) 経常費用			
① 事業費	(53,507,301)	(51,677,889)	(1,829,412)
期首商品棚卸高	3,451,150	2,516,285	934,865
期末商品棚卸高	△ 2,986,108	△ 3,451,150	465,042
技術開発研究費	6,480,905	8,491,912	△ 2,011,007
試験等事業費	14,106,851	14,804,789	△ 697,938
技術フォーラム事業費	9,122,975	7,512,952	1,610,023
出版事業費	12,993,241	11,660,004	1,333,237
広報活動費	2,944,793	2,687,372	257,421
賃借料	2,509,176	2,625,612	△ 116,436
広告宣伝費	839,410	775,812	63,598
協賛金	1,544,908	2,054,301	△ 509,393
助成金	2,500,000	2,000,000	500,000
② 管理費	(47,982,448)	(51,292,135)	(△ 3,309,687)
職員給与	10,379,310	10,667,839	△ 288,529
臨時雇用賃金	190,915	0	190,915
役員退任慰労金	0	0	0
退職給与引当金	300,221	690,225	△ 390,004
福利厚生費	1,959,513	1,825,006	134,507
委託費	8,091,782	11,069,841	△ 2,978,059
会議費	8,257,205	8,396,444	△ 139,239
旅費交通費	4,657,980	4,346,306	311,674
通信運搬費	2,167,534	1,658,673	508,861
消耗品費	873,377	825,150	48,227
消耗什器備品費	135,000	489,240	△ 354,240
保守費(IT関係)	523,200	614,304	△ 91,104
印刷製本費	699,330	605,130	94,200
水道光熱費	428,025	442,609	△ 14,584
諸謝金	1,527,160	1,424,000	103,160
賃借料	5,525,059	5,625,828	△ 100,769
租税公課	202,300	418,300	△ 216,000
諸会費	448,500	493,500	△ 45,000
渉外慶弔費	345,532	11,620	333,912
雑費	1,270,505	1,688,120	△ 417,615
経常費用計	101,489,749	102,970,024	△ 1,480,275
当期経常増減額	△ 1,309,672	△ 1,610,623	300,951
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
前期損益修正損	0	0	0
電話加入権評価損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,309,672	△ 1,610,623	300,951
一般正味財産期首残高	45,864,984	47,475,607	△ 1,610,623
一般正味財産期末残高	44,555,312	45,864,984	△ 1,309,672
II 正味財産期末残高	44,555,312	45,864,984	△ 1,309,672

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位/円)

科 目	本部			支部計			合計		
I 資産の部									
1 流動資産									
現金預金									
現金	233,274			362,211			595,485		
郵便振替口座									
東京貯金事務センター	454,700			0			454,700		
普通預金									
みずほ銀行新橋支店(本部)	4,031,242			0			4,031,242		
三井住友銀行日比谷通支店(本部)	996,142			0			996,142		
北洋銀行南口支店(北海道)				4,712,895			4,712,895		
七十七銀行仙台東口支店(東北)				1,424,363			1,424,363		
第四銀行白山支店(新潟)				1,834,924			1,834,924		
富山銀行諏訪川原支店(富山)				595,430			595,430		
北國銀行 大徳支店(石川)				562,599			562,599		
八十二銀行風間支店(長野)				871,881			871,881		
静岡信用金庫城北支店(静岡)				1,130,404			1,130,404		
三菱UFJ銀行新橋支店(東海)				617,031			617,031		
三菱UFJ銀行新橋支店(関西)				2,093,052			2,093,052		
中国銀行県庁支店(中国)				3,568,218			3,568,218		
百十四銀行東支店(四国)				393,159			393,159		
福岡銀行博多駅東支店(九州)				1,422,060			1,422,060		
三菱UFJ銀行新橋支店(関東)				1,496,288			1,496,288		
定期預金									
三菱東京UFJ銀行新橋支店				0			0		
前払金	0			0			0		
未収金	40,400			66,895			107,295		
商品	2,986,108			0			2,986,108		
立替金	1,443			24,400			25,843		
流動資産合計		8,743,309			21,175,810			29,919,119	
2 固定資産									
(1) 特定資産									
登録試験事業積立資産									
定期預金									
三井住友銀行日比谷通支店	0			0			0		
技術フォーラム事業積立資産									
定期預金									
三井住友銀行日比谷通支店	0			0			0		
出版事業積立資産									
定期預金									
三井住友銀行日比谷通支店	0			0			0		
職員退職給与積立金									
勤労者退職金共済機構	3,355,273			0			3,355,273		
富山銀行諏訪川原支店(定期預金)				2,854,469			2,854,469		
運営資金積立金									
普通預金									
富山銀行諏訪川原支店				262,713			262,713		
四国銀行 高松支店				0			0		
定期預金									
第四銀行白山支店				0			0		
富山銀行諏訪川原支店				12,031,855			12,031,855		
基本財産合計	3,355,273			15,149,037			18,504,310		
(2) その他の固定資産									
什器備品	1			0			1		
電話加入権	6,000			0			6,000		
敷金	2,468,360			240,000			2,708,360		
その他の固定資産合計	2,474,361			240,000			2,714,361		
固定資産合計		5,829,634			15,389,037			21,218,671	
資産合計			14,572,943			36,564,847			51,137,790
II 負債の部									
1 流動負債									
未払金	185,874			0			185,874		
前受金	3,000			0			3,000		
預り金	183,862			0			183,862		
流動負債合計		372,736			0			372,736	
2 固定負債									
退職給与引当金	3,355,273			2,854,469			6,209,742		
固定負債合計		3,355,273			2,854,469			6,209,742	
負債合計			3,728,009			2,854,469			6,582,478
正味財産			10,844,934			33,710,378			44,555,312

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

平成25年度より「公益法人会計基準」(平成20年4月11日、平成21年10月16日改正)を採用している。

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし。

(2)固定資産の減価償却の方法

什器備品については、定額法を採用している。

(3)引当金の計上基準

事業年度末日における退職給付見込み額を簡便法に基づき計上している。

(4)消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
登録試験事業積立資産	0	0	0	0
技術フォーラム事業積立資産	0	0	0	0
出版事業積立資産	0	0	0	0
職員退職積立金	5,374,301	835,441	0	6,209,742
運営資金積立金	15,297,253		3,002,685	12,294,568
小 計	20,671,554	835,441	3,002,685	18,504,310
合 計	20,671,554	835,441	3,002,685	18,504,310

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
小 計	0	(0)	(0)	(-)
特定資産				
登録試験事業積立資産	0	(0)	(0)	(-)
技術フォーラム事業積立資産	0	(0)	(0)	(-)
出版事業積立資産	0	(0)	(0)	(-)
職員退職積立金	6,209,742	(0)	(0)	(6,209,742)
運営資金積立金	12,294,568	(0)	(12,294,568)	(-)
小 計	18,504,310	(0)	(12,294,568)	(6,209,742)
合 計	18,504,310	(0)	(12,294,568)	(6,209,742)

収支計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	本部	支部	合計
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 入会金収入	(200,000)	(0)	(200,000)
② 会費収入	(32,970,000)	(34,248,500)	(67,218,500)
③ 事業収入	(24,126,665)	(5,815,964)	(29,942,629)
印刷物頒布収入	4,054,665	0	4,054,665
試験等事業収入	18,458,000	200,964	18,658,964
技術フォーラム参加収入	1,614,000	1,495,000	3,109,000
業務受託収入	0	4,120,000	4,120,000
④ 雑収入	(1,075,809)	(1,743,139)	(2,818,948)
受取利息	99	1,600	1,699
広告収入	0	0	0
その他収益	1,075,710	1,741,539	2,817,249
事業活動収入計	58,372,474	41,807,603	100,180,077
2 事業活動支出			
① 事業費支出	(40,747,977)	(12,294,282)	(53,042,259)
技術開発研究費	160,340	6,320,565	6,480,905
職員給与	0	5,206,838	5,206,838
退職金	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
旅費交通費	0	104,740	104,740
通信運搬費	6,320	64,233	70,553
消耗品費	0	129	129
印刷製本費	0	249,205	249,205
会場借上等費	0	527,030	527,030
諸謝金	0	108,000	108,000
雑費	154,020	60,390	214,410
試験等事業費	13,446,245	660,606	14,106,851
職員給与	3,184,570	0	3,184,570
退職金	0	0	0
福利厚生費	708,675	0	708,675
旅費交通費	1,686,090	255,880	1,941,970
通信運搬費	834,170	510	834,680
消耗品費	69,198	12,216	81,414
印刷製本費	2,216,293	7,560	2,223,853
会場借上等費	2,149,427	238,576	2,388,003
諸謝金	2,380,000	143,392	2,523,392
雑費	217,822	2,472	220,294
技術フォーラム事業費	7,525,305	1,597,670	9,122,975
職員給与	1,393,510	0	1,393,510
退職金	0	0	0
福利厚生費	251,601	0	251,601
旅費交通費	1,201,620	90,670	1,292,290
通信運搬費	35,098	0	35,098
消耗品費	61,499	123,510	185,009
印刷製本費	1,135,266	12,000	1,147,266
会場借上等費	3,182,862	542,893	3,725,755
諸謝金	70,000	0	70,000
雑費	193,849	828,597	1,022,446
出版事業費	12,918,601	74,640	12,993,241
職員給与	1,135,430	0	1,135,430
退職金	0	0	0
福利厚生費	207,528	0	207,528
旅費交通費	732,800	49,640	782,440
通信運搬費	473,254	0	473,254
消耗品費	17,652	0	17,652

科 目	本部	支部	合計
印刷製本費	8,950,218	0	8,950,218
印刷物購入費	0	0	0
会場借上等費	187,214	25,000	212,214
諸謝金	927,600	0	927,600
雑費	286,905	0	286,905
広報活動費	921,910	2,022,883	2,944,793
職員給与	0	519,580	519,580
退職金	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
旅費交通費	586,900	730,630	1,317,530
通信運搬費	1,925	17,960	19,885
消耗品費	0	0	0
印刷製本費	105,600	137,413	243,013
会場借上費	227,485	222,840	450,325
諸謝金	0	390,000	390,000
雑費	0	4,460	4,460
賃借料	2,509,176	0	2,509,176
広告宣伝費	406,400	433,010	839,410
協賛金	1,160,000	384,908	1,544,908
助成金	1,700,000	800,000	2,500,000
②管理費	(16,481,078)	(31,201,149)	(47,682,227)
職員給与	3,424,110	6,955,200	10,379,310
臨時雇用賃金	190,915	0	190,915
役員退任慰労金	0	0	0
福利厚生費	792,981	1,166,532	1,959,513
委託費	3,031,782	5,060,000	8,091,782
会議費	2,574,232	5,682,973	8,257,205
旅費交通費	329,163	4,328,817	4,657,980
通信運搬費	978,868	1,188,666	2,167,534
消耗品費	243,259	630,118	873,377
消耗什器備品費	0	135,000	135,000
保守費(IT関係)	523,200	0	523,200
印刷製本費	339,387	359,943	699,330
水道光熱費	428,025	0	428,025
諸謝金	397,160	1,130,000	1,527,160
賃借料	2,509,176	3,015,883	5,525,059
租税公課	121,300	81,000	202,300
諸会費	90,500	358,000	448,500
渉外慶弔費	0	345,532	345,532
雑費	507,020	763,485	1,270,505
事業活動支出計	57,229,055	43,495,431	100,724,486
事業活動収支差額	1,143,419	△ 1,687,828	△ 544,409
Ⅱ 投資活動収支の部			
1 投資活動収入	0	0	0
2 投資活動支出	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
Ⅲ 財務活動収支の部			
1 財務活動収入	0	0	0
2 財務活動支出	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
Ⅳ 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	1,143,419	△ 1,687,828	△ 544,409
前期繰越収支差額	4,231,205	20,161,174	24,392,379
次期繰越収支差額	5,374,624	18,473,346	23,847,970

令和2年6月4日

一般社団法人斜面防災対策技術協会
会 長 辻 裕 殿

一般社団法人斜面防災対策技術協会

監 事 石川 芳治 

監 事 長田 俊明 

監 査 報 告 書

私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの当法人の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及びその使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、書類等を閲覧し、当法人の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

第2号議案 役員選任の件

役 員 選 任 （案）

現 任 員 （役職：現時点）				選 任 案				
役 職	氏 名	職 歴	備 考	役 職		氏 名	職 歴	備 考
会 長	辻 裕	国土防災技術(株) 常任相談役 JCEホールディングス（株）代表取締役社長		理 事		辻 裕	国土防災技術(株) 常任相談役 JCEホールディングス（株）代表取締役社長	
副 会 長	近藤 浩一	(一財)砂防・地すべり技術センター 相談役				近藤 浩一	(一財)砂防・地すべり技術センター 相談役	
副 会 長	原 裕	日本建設技術(株) 代表取締役社長	九州支部			原 裕	日本建設技術(株) 代表取締役社長	九州支部
専務理事	杉浦 信男	(一社)斜面防災対策技術協会				杉浦 信男	(一社)斜面防災対策技術協会	
理 事	小野由紀光	国土防災技術北海道(株) 代表取締役社長	北海道支部			小野由紀光	国土防災技術北海道(株) 代表取締役社長	北海道支部
	熊谷 茂一	東北ボーリング(株) 代表取締役社長	東北支部			熊谷 茂一	東北ボーリング(株) 代表取締役社長	東北支部
	滝澤 俊康	ライト工業(株) 技術営業本部技術部長	関東支部			滝澤 俊康	ライト工業(株) 技術営業本部技術部長	関東支部
	野澤英之助	(株)興和 相談役	新潟支部		新任	高橋 猛	(株)興和 取締役副社長	新潟支部
	田中洋一郎	ダイチ(株)代表取締役	富山支部			田中洋一郎	ダイチ(株) 代表取締役	富山支部
	矢野 好二	能登建設(株) 代表取締役社長	石川支部			矢野 好二	能登建設(株) 代表取締役社長	石川支部
	吉村 泰	北陽建設(株) 長野営業所長	長野支部			吉村 泰	北陽建設(株) 長野営業所長	長野支部
	土屋 靖司	(株)富士和 代表取締役社長	静岡支部			土屋 靖司	(株)富士和 代表取締役社長	静岡支部
	熊谷栄治郎	イビデングリーンテック(株) 常務取締役法面事業本部長	東海支部			熊谷栄治郎	イビデングリーンテック(株) 常務取締役法面事業本部長	東海支部
	谷垣 和伸	(株)タニガキ建工 代表取締役社長	関西支部			谷垣 和伸	(株)タニガキ建工 代表取締役社長	関西支部
	岩本 方克	(株)エイト日本技術開発 常務取締役地域統括	中国支部			岩本 方克	(株)エイト日本技術開発 常務取締役地域統括	中国支部
	永野 敬典	(株)相愛 代表取締役社長	四国支部			永野 敬典	(株)相愛 代表取締役社長	四国支部
	大場勝一郎	日本工営(株) 国土保全事業部副事業部長			新任	藤原 民章	日本工営(株) 国土保全事業部副事業部長	
	進藤 武	明治コンサルタント(株) 管理本部副本部長				進藤 武	明治コンサルタント(株) 管理本部副本部長	
	若林 直樹	(株)日さく 代表取締役社長				若林 直樹	(株)日さく 代表取締役社長	
監 事	石川 芳治	東京農工大学 名誉教授		監 事		石川 芳治	東京農工大学 名誉教授	
	長田 俊明	国際航業(株) 公共コンサルタント事業部 東日本支社 官公庁G				長田 俊明	国際航業(株) 公共コンサルタント事業部 東日本支社 官公庁G	

(報告事項)

第1号報告 令和元年度事業報告について

令和元年度事業報告

定例の総会・理事会並びに登録地すべり防止工事試験、地すべり防止工事士技術講習会（更新講習）、斜面技術フォーラムを予定通り開催すると共に、斜面防災対策技術の開発、普及、啓発事業等に関して各委員会活動を含む協会活動を積極的に行った。

会員数については、正会員 1 社、賛助会員 1 社の入会があったが、正会員 3 社の退会があり、協会活動を通じて会員のメリットを明確にして魅力ある協会にしていく必要がある。

本年度は協会代表の改選時であったことから、会長には国土防災技術株式会社代表取締役社長（現 常任相談役）の辻 裕氏が、副会長には一般財団法人砂防・地すべり技術センター相談役の近藤浩一氏及び日本建設技術株式会社代表取締役社長の原 裕氏が、専務理事には杉浦信男氏が理事の互選で選任された。

1. 総会及び理事会関係

(1) 総会

定時社員総会（第 41 回）

令和元年 6 月 25 日（火） 於：砂防会館別館「六甲」会議室

【審議事項】

- ①平成 30 年度収支決算承認の件
- ②役員選任の件

【報告事項】

- ①平成 30 年度事業報告について
- ②令和元年度事業計画及び収支予算書について

(2) 理事会

第 1 回理事会

令和元年 6 月 10 日（月） 於：砂防会館別館「穂高」会議室

【審議事項】

- ①平成 30 年度事業報告の件
- ②平成 30 年度収支決算の件
- ③令和元年度収支予算変更の件
- ④役員人事の件
- ⑤令和元年度定時社員総会招集の件
- ⑥出版価格の件

【報告事項】

- ①地すべり防止工事士関連について
- ②協会出版事業の現状について
- ③技術フォーラムについて
- ④地すべり防止工事士活用状況調査について
- ⑤その他

第 2 回理事会

令和元年 6 月 25 日（火） 於：砂防会館別館「六甲」会議室

【審議事項】

- ①会長、副会長及び専務理事選定の件

第3回理事会（書面表決）

令和元年8月23日（金）

【審議事項】

- ①新入会員承認の件

第4回理事会

令和元年10月18日（水）

於：松江エクセル東急ホテル2階会議室「エターナル」

【審議事項】

- ①「第5回斜面防災世界フォーラム（WLF5）2020, 京都」の共催の件
- ②消費税率改定に伴う試験事業関係価格の改訂の件
- ③令和2年度斜面防災技術フォーラム開催地の件

【報告事項】

- ①令和元年度登録地すべり防止工事試験について
- ②令和元年度地すべり防止工事士技術講習（更新講習）について
- ③「第22回斜面防災対策技術フォーラム'19 in 松江」について
- ④地すべり防止工事士活用状況調査（平成30年度分）について
- ⑤建設マスター・ジュニアマスターの決定について
- ⑥今後の予定

第5回理事会（書面表決）

令和元年11月19日（火）

【審議事項】

- ①新入会員承認の件

第6回理事会（書面決議）

令和2年3月25日（水）

【審議事項】

- ①新入会員承認の件
- ②規約改訂案承認の件
- ③令和元年度事業報告案承認の件
- ④令和元年度本部収支決算見込み案承認の件
- ⑤令和2年度事業計画案承認の件
- ⑥令和2年度収支予算案承認の件

(3) 会員数（令和2年3月31日現在）

会員各位の努力によって、本年度は正会員1社、賛助会員1社の入会があったが、正会員3社からの退会の申請があった。

- ・正会員数 220 会員（平成30年度末 222 会員）
（新入会1会員：（株）ワイズシステム）
（退会3社：（株）メック宮崎、三備工業（株）、（株）共同地質コンパニオン）
- ・賛助会員数 19 会員（平成30年度末 18 会員）
（新入会1会員：前田工織（株））

2. 試験関係

(1) 登録地すべり防止工事試験

一次試験（筆記）

令和元年6月15日（土）に札幌、仙台、東京、新潟、富山、長野、静岡、名古屋、神戸、岡山、高松、福岡の12都市で実施した。

実受験者 170名 合格者 52名（合格率30.6%）

二次試験（面接）

令和元年9月14日（土）神戸、9月21日（土）東京、9月28日（土）福岡で実施した。

実受験者 63名 合格者 54名（合格率85.7%）

過去問題集（平成22年度から令和元年度）を3月に発行した。

(2) 技術講習会（更新講習）

平成26年度登録者及び平成29・30年度未受講者を対象として、全支部の13会場で実施した。講習テーマは「地震と地すべり」もしくは「地域の斜面災害」ならびに「斜面对策工の機能回復手法等の計画・設計・施工管理の手法」とし、各会場の講師は以下のとおりである。

令和元年度も、災害の影響等で受講できなかった受講対象者に配慮し、東京会場では2回目の講習会を開催した。

全受講者 834名

○札幌会場	7月9日（火）	札幌エルプラザ		
（講師）	（株）ドーコン	技術顧問	田近 淳	
	川崎地質（株）		沼宮内 信	
○仙台会場	7月6日（土）	中小企業活性化センター		
（講師）	東北学院大学	名誉教授	宮城 豊彦	
	国土防災技術（株）		榎田 充哉	
○東京会場	8月3日（土）	A P 浜松町		
（講師）	東京農工大学	名誉教授	石川 芳治	
	川崎地質（株）		沼宮内 信	
	11月9日（土）	A P 浜松町		
（講師）	東京農工大学	名誉教授	石川 芳治	
	（株）キタック		伊藤 克己	
○新潟会場	7月27日（土）	興和ビル		
（講師）	新潟大学	准教授	渡部 直喜	
	明治コンサルタント（株）		滝口 潤	
○富山会場	7月20日（土）	富山県県民会館		
（講師）	富山県立大学	准教授	古谷 元	
	（株）村尾地研		村尾 英彦	
○石川会場	7月27日（土）	石川県地場産業振興センター		
（講師）	富山県立大学	准教授	古谷 元	
	総合地質コンサルタント（株）		岡田 芳一	
○長野会場	8月9日（金）	ホテル国際 21		

(講師)	静岡大学 名誉教授	土屋 智
	(株) キタック	伊藤 克巳
○静岡会場	7月27日(土) 静岡市産学交流センター	
(講師)	静岡大学 名誉教授	土屋 智
	国土防災技術(株)	高島 誠
○名古屋会場	7月25日(木) 名古屋港湾会館	
(講師)	名古屋大学大学院 准教授	田中 隆文
	(株) 興和	丸山 正記
○大阪会場	7月22日(月) 三宮グラウンドビル	
(講師)	京都大学防災研究所 教授	松浦 純生
	日本工営(株)	浦 元啓
○岡山会場	7月6日(土) ピュアリティまきび	
(講師)	鳥取大学 名誉教授	藤村 尚
	(株) 相愛	市橋 義治
○高松会場	7月17日(水) サン・メッセ香川	
(講師)	愛媛大学 特命教授	矢田部龍一
	(株) 相愛	市橋 義治
○福岡会場	7月27日(土) 福岡県中小企業振興センター	
(講師)	鹿児島大学 教授	地頭藺 隆
	日本工営(株)	井上 宏

(3) 地すべり防止工事士マイスター制度

経験豊富な地すべり防止工事士（65歳以上で更新5回以上）に対し後進の育成等での活躍を期し昨年度創設した地すべり防止工事士マイスターは、令和元年度は99名が登録した。マイスターの登録者総数は157名となった。

3. 研修関係

(1) 令和元年度地すべり防止技術研修

（一財）全国建設研修センターとの共催で国土交通省等の後援を得て実施した。研修講師は当協会から派遣し、教材等についても講師が作成したものを用いた。

令和元年5月21日（火）から24日（金）までの4日間

現地研修は静岡県由比地区地すべり対策事業（直轄）の現場

受講者数 28名

(2) 研修テキストの改訂

地すべり防止技術の総合的な参考書である「地すべり防止技術研修テキスト」を改訂し、令和元年5月に発刊した。

4. 総務・広報関係

(1) ホームページの活用

機関誌「斜面防災技術」に掲載された技術情報を順次、ホームページで公開した。また、斜面防災に係る研究機関、博物館等をホームページ委員が取材し、ホームページに紹介した。国土交通省等からの通知等を会員専用ページに迅速に掲載

し、会員への情報提供に努めた。

ホームページをより使いやすいものにするため、ホームページの改良に努めた。

(2) 「斜面防災 News Letter」の発行

令和元年度は技術フォーラムの案内など計2回発行した。協会の主な行事等を機関誌とは異なった情報で会員に伝達する手段とした。

(3) 地すべり防止工事士活用調査

会員企業に対し、地すべり防止工事士がどのように活用されているか受注案件について調査を実施した。

平成30年度は会員が受注した案件に限らず、入札過程で入手した情報も依頼したことから、工事、業務とも回答会員数、回答件数とも大幅に増加した。今後も調査は継続し、陳情等の資料として蓄積していく。

5. 技術関係

(1) 第22回「斜面防災対策技術フォーラム'19 in 松江」を開催

令和元年10月17日(木) 島根県立産業交流館(くにびきメッセ)

(松江市)

特別講演Ⅰ 汪 発武氏(島根大学総合理工学部地球科学科教授)

演 題 「地震による高速長距離運動地すべりの発生・運動機構」

特別講演Ⅱ 小泉 凡氏(小泉八雲記念館館長、島根県立大学短期大学部
名誉教授)

演 題 「小泉八雲がみた日本の自然～移ろいと自然災害がつくる日
本文化～」

技術発表 発表編数 30編

参加者 265名

技術発表の最優秀発表者として伊藤啓太氏(奥山ボーリング(株))、久保圭槻氏(日本工営(株))、酒井啓介氏(東亜グラウト工業(株))の3氏が、優秀発表者として曾我紀仁氏(日本建設技術(株))、原 忠利氏(出雲グリーン(株))、鈴木孝明氏(日本基礎技術(株))、東 豊一氏((株)相愛)、濱田雅彦氏(基礎地盤コンサルタント(株))、會津水仁氏(国際航業(株))の6氏が表彰された。

技術フォーラム翌日の現地見学会は、平成30年度災害関連緊急治山事業(小弁堂)山腹工事現場及び三瓶小豆原理没林公園を見学し、参加者は33名であった。

(2) 「斜面对策工維持管理実施要領」は着実に販売され残部は21部となった。現在、「積算・歩掛委員会」が積算・歩掛編の編集作業を実施しており、令和2年度中

に発行予定である。

6. 編集関係

会誌「斜面防災技術」の第 135 号～第 137 号を発刊した。

本部と支部編集委員による合同編集会議（平成 31 年 4 月 12 日）を開催し、支部関係の情報収集を密にできるよう意見交換を実施した。

座談会を東海支部（令和元年 5 月 28 日）及び栃木県県土整備部砂防水資源課（令和元年 9 月 13 日）と開催した。

7. 支部活動

13 支部において、斜面防災対策技術の向上及び斜面防災対策業の健全な発展を図るため以下の活動を実施した。

- ・各支部での、登録地すべり防止工事試験並びに地すべり防止工事士技術講習の運営・開催
- ・各支部での、発注者に対する広報・要望活動
- ・各支部での、斜面防災対策技術者の技術向上のための講習会、研修会、見学会等の開催
- ・中国支部での「斜面防災技術フォーラム」の運営・開催

8. 全国事務局長会議

令和元年 11 月 1 日（金）静岡市において全国事務局長会議を開催し、協会運営に関する諸事項の協議と各事務局間での意思疎通を図った。

9. 他団体等への協賛・助成

以下の諸行事等に対して協賛・助成した。

- ・土砂災害防止月間（6 月 1 日～30 日）
- ・（公社）日本地すべり学会シンポジウム
- ・（公社）砂防学会シンポジウム
- ・雪崩防災シンポジウム
- ・砂防図書館の共同運営事業
- ・砂防ボランティア基金
- ・地すべり防止工事士会

以 上

(報告事項)

第2号報告 令和2年度事業計画及び収支予算書について

令和 2 年度事業計画

1. 総会、理事会及び要望活動関係

- (1) 第 42 回定時社員総会を令和 2 年 6 月 30 日（火）砂防会館別館にて開催する。
- (2) 理事会は、年 3 回（令和 2 年 6 月 15 日（月）書面決議、10 月 14 日（水）名古屋市、令和 3 年 3 月末（未定）東京で開催する。
- (3) 以下の事業を重点課題として、協会の強化及び活性化を図る。
 - ①地すべり事業費の確保
 - ②会員を増やすための活動
 - ③地すべり防止工事士の増大
 - ④協会出版物の活用促進と販売促進の活動
 - ⑤会員の技術力向上のための活動
- (4) 当協会会員の活用及び「地すべり防止工事士」の活用を図るための要望活動を積極的に行う。
- (5) 災害協定の締結および大規模災害への関与に関して、支部・本部一体となって活動に取り組む。

2. 試験関係

登録地すべり防止工事試験及び技術講習会を以下のとおり実施する。

(1) 登録地すべり防止工事試験

①一次試験

令和 2 年 8 月 22 日（土）に全国 13 都市で開催する。

②二次試験

3 会場に絞って実施する。

令和 2 年 11 月 7 日（土）福岡市、11 月 14 日（土）神戸市、11 月 21 日（土）東京都

(2) 技術講習会

平成 27 年度登録者及び平成 30・令和元年度未受講者を対象として全国 13 都市で 10 月から 12 月にかけて実施する。

地すべり工事士マイスター制度の広報に努め、工事士登録の減少の歯止めを

図る。

※受講対象者は約 1,000 名

3. 研修関係

- (1) 令和 2 年度地すべり防止技術研修を（一財）全国建設研修センターと共催、国土交通省等の後援を得て、令和 2 年 5 月 19 日（火）から 22 日（金）までの 4 日間に実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止となった。

4. 総務・広報関係

- (1) 協会ホームページの内容を充実させ、協会を広くアピールするための広報活動を強化すると共に、会員への有益なツールに発展させる。
- (2) 「斜面防災 News Letter」を継続的に発行して会員への情報提供を行う。
- (3) 「地すべり防止工事士」等の広報資料（パンフ等）を適宜改訂し関係機関に提供できるようにする。
- (4) 地すべり防止工事士の活用状況を協会内で調査し、要望活動の資料を作成する。
- (5) 事務局内のセキュリティ機能を向上させるべく、常に専門家の意見を聴収し、最善の対応を図る。

5. 技術関係

- (1) 第 23 回「斜面防災対策技術フォーラム'20」を名古屋市において開催する。

令和 2 年 10 月 15 日（木）10：00～17：45（予定）

- ・ 特別講演 2 題（予定）
- ・ 技術発表 発表編数 30 編（予定）
- ・ 現地研修 10 月 16 日（金）（見学先未定）

- (2) 災害対応支援体制及び対応技術力の向上等に関する事項を確立させる。
- (3) 積算・歩掛に関し、適切な積算体系の検討や資料収集・整理に関する事項を確立させる。
- (4) 「斜面对策工維持管理実施要領」の積算歩掛編を発行する。

(5) C P D (継続教育) 制度を充実させる。

6. 編集関係

- (1) 会誌「斜面防災技術」第 138～140 号を発刊する。
- (2) 会誌「斜面防災技術」編集のため、本部と支部編集委員による合同編集会議を 7 月 3 日 (金) に開催し、本部支部の意思疎通を図る。
- (3) 座談会を 2 回開催する。

7. 全国事務局長会議

令和 2 年度の全国事務局長会議を開催し、事務局相互の意思疎通を図る。

8. 共催・他団体等への協賛・助成

第 5 回斜面防災世界フォーラム (WLF5) 2020 京都大会を共催する。

また、以下の諸行事等に対して協賛・助成する。

- (1) 土砂災害防止月間
- (2) (公社) 日本地すべり学会シンポジウム
- (3) (公社) 砂防学会シンポジウム
- (4) 雪崩防災シンポジウム
- (5) 砂防図書館の共同運営事業
- (6) 砂防ボランティア基金
- (7) 全国地すべり防止工事士会 等

9. 各支部の活動

13 支部において、斜面防災対策技術の向上及び斜面防災対策業の健全な発展を図るため以下の活動を実施する。

- (1) 全支部において、本部又は他支部と連動した会員確保活動、講習会・研修会の開催、その他諸活動を実施し、支部の活性化ならびに支部運営の健全化を図る。また、会員への有益な情報提供活動を充実させる。
- (2) (公社) 日本地すべり学会等、関係団体との連携又は活動支援を行う。
- (3) 発注者に対して、積極的な要望活動を行う。

以上

令和2年度収支予算

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	本 部		支 部		全 体	
	令和2年度予算	令和元年度予算	令和2年度予算	令和元年度予算	令和2年度予算	令和元年度予算
I 一般正味財産増減の部						
経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 入会金収益	(400,000)	(400,000)	(0)	(200,000)	(400,000)	(600,000)
② 会費収益	(32,960,000)	(33,210,000)	(38,075,000)	(37,805,000)	(71,035,000)	(71,015,000)
年会費	32,960,000	33,210,000	37,425,000	37,005,000	70,385,000	70,215,000
その他会費		0	650,000	800,000	650,000	800,000
③ 事業収益	(23,950,000)	(24,476,000)	(4,750,000)	(5,731,500)	(28,700,000)	(30,207,500)
印刷物頒布収益	3,520,000	4,197,000	0	1,500	3,520,000	4,198,500
試験等事業収益	18,440,000	18,690,000	650,000	720,000	19,090,000	19,410,000
技術研修会収益(フォーラム)	1,990,000	1,589,000	0	900,000	1,990,000	2,489,000
業務受託収益	0	0	4,100,000	4,110,000	4,100,000	4,110,000
④ その他収益	(1,070,000)	(820,000)	(2,712,962)	(2,649,944)	(3,782,962)	(3,469,944)
支部活動費(本部から)		0	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000
雑収益	1,070,000	820,000	1,312,962	1,249,944	2,382,962	2,069,944
経常収益計	58,380,000	58,906,000	45,537,962	46,386,444	103,917,962	105,292,444
(2) 経常費用					0	0
① 事業費	(41,883,277)	(42,960,442)	(16,275,400)	(16,487,940)	(58,158,677)	(59,448,382)
期首商品棚卸高	2,916,150	3,451,150			2,916,150	3,451,150
期末商品棚卸高	△ 2,000,150	△ 2,807,708			△ 2,000,150	△ 2,807,708
技術開発研究費	503,000	700,000	7,785,000	7,695,000	8,288,000	8,395,000
試験等事業費	15,550,000	15,705,000	1,130,000	1,090,000	16,680,000	16,795,000
技術フォーラム事業費	8,100,000	6,740,000	905,000	1,200,000	9,005,000	7,940,000
出版事業費	10,299,677	12,592,000	500,000	305,000	10,799,677	12,897,000
広報活動費	1,020,000	670,000	3,660,400	3,836,340	4,680,400	4,506,340
賃借料	2,550,000	2,584,000	200,000	210,000	2,750,000	2,794,000
広告宣伝費	304,600	316,000	478,000	593,600	782,600	909,600
協賛金	1,110,000	1,160,000	717,000	658,000	1,827,000	1,818,000
助成金	1,530,000	1,850,000	900,000	900,000	2,430,000	2,750,000
② 管理費	(15,680,000)	(16,113,000)	(31,114,000)	(31,944,000)	(46,794,000)	(48,057,000)
職員給与	3,842,000	3,948,000	7,540,000	6,940,000	11,382,000	10,888,000
臨時雇用賃金	0	0	0	0	0	0
役員退任慰労金		0	300,000	310,000	300,000	310,000
退職給与引当金	180,000	0	0			
福利厚生費	760,000	716,000	1,190,000	1,150,000	1,950,000	1,866,000
委託費	2,100,000	2,224,000	4,760,000	5,260,000	6,860,000	7,484,000
会議費	3,100,000	2,911,000	5,400,000	6,190,000	8,500,000	9,101,000
旅費交通費	500,000	426,000	3,505,000	3,710,000	4,005,000	4,136,000
通信運搬費	225,000	376,000	1,383,000	1,360,000	1,608,000	1,736,000
消耗品費	226,000	255,000	525,000	595,000	751,000	850,000
消耗什器備品費	0	0	56,000	61,000	56,000	61,000
保守費(IT関連)	580,000	524,000	0	0	580,000	524,000
印刷製本費	340,000	315,000	520,000	465,000	860,000	780,000
水道光熱費	440,000	486,000	0	0	440,000	486,000
諸謝金	0	324,000	1,430,000	1,400,000	1,430,000	1,724,000
賃借料	2,550,000	2,584,000	3,200,000	3,220,000	5,750,000	5,804,000
租税公課	130,000	300,000	90,000	90,000	220,000	390,000
諸会費	87,000	90,500	280,000	278,000	367,000	368,500
渉外慶弔費	50,000	50,000	50,000	30,000	100,000	80,000
雑費	570,000	583,500	885,000	885,000	1,455,000	1,468,500
経常費用計	57,563,277	59,073,442	47,389,400	48,431,940	104,952,677	107,505,382
当期経常増減額	816,723	△ 167,442	△ 1,851,438	△ 2,045,496	△ 1,034,715	△ 2,212,938
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
前期損益修正額	0	0	0	0	0	0
電話加入権評価損	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	816,723	△ 167,442	△ 1,851,438	△ 2,045,496	△ 1,034,715	△ 2,212,938
一般正味財産期首残高	12,937,690	11,760,690	34,743,929	35,698,427	47,681,619	47,459,117
一般正味財産期末残高	13,754,413	11,593,248	32,892,491	33,652,931	46,646,904	45,246,179
II 正味財産期末残高	13,754,413	11,593,248	32,892,491	33,652,931	46,646,904	45,246,179

令和元年度決算見込みの一般正味財産期首残高は平成30年度決算の一般正味財産期末残高を入れてあります。

令和2年度予算の一般正味財産期首残高は令和元年度決算見込みの一般正味財産期末残高を入れてあります。

一般社団法人 斜面防災対策技術協会
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 北海道支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 東北支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 関東支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 新潟支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 富山支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 石川支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 長野支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 静岡支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 東海支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 関西支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 中国支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 四国支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 九州支部